



CHOSHI

ちば銚子熱中小学校 第4期 生徒募集



10月17日（土）の校外学習からスタート

第4期も素晴らしいラインナップ。
みなさまのお越しをお待ちしております。

「もういちど7歳の目で世界を」

学んで、持ち帰って
次の自分になる



開催日程

10月17日（土）／11月7日（土）
／12月5日（土）／1月9日（土）
2月6日（土）／3月6日（土）

10月17日の校外学習からはじまります。10月はあさひの芸術祭とのコラボ授業で、通常授業日を変更して第3土曜日の開催となりますのでお間違いないく。



会場

銚子マリーナ会議室等

※変更になる場合は毎回事務局よりお知らせします



入学申込

第4期の申込はこちら

<https://forms.gle/8e4DnfyS2d1rxqaA9>



授業料

個人会員：15,000円

ご家族での追加会員：5,000円

学生：5,000円（運営のお手伝いをいただくと無料）

法人会員：30,000円（3名様まで）

スポット：1回3,000円

初めて参加の方は、お一人1回のみ、無料で参加できます。



生徒の特典

- ・各期終了後、アーカイブ動画を視聴可能となります。出られなかった回やもう一度見たい回など、半年間有効です。
- ・修了証と、入学時にふりかえりシートのファイルをもらえる。
- ・熱中パスポートで他校の授業を受けられる。

※スポット参加の方は、上記特典は申し訳ありませんがございません。



■熱中中小学校は、生徒さんの授業料で運営しております。

法人様からのご寄付も随時受け付けております。

ご寄付いただきますと、賛助会員としてご参加いただくことができます。

みなさまのご参加をお待ちしております！！



■問い合わせ先：一般社団法人ちば熱中創造機構

e-Mail: info@choshi-necchu.net



ザ☆モンゴルマン
本名 齊藤 俊一（さいとう しゅんいち）
担当教科：美術
プロレスラー、タレント、郵便局員などを経て、特別支援学校に勤務しながら芸術活動を開始。現在は中学校美術非常勤講師。アーティスト、アートディレクター。旭の芸術祭（あさげー）代表。千葉県旭市在住

2026年後期の授業 スケジュール

第4期



11月7日



立花 貴（たちばな たかし）
公益社団法人MORIUMIUS代表
理事
担当教科：生活
東日本大震災を機に石巻市雄勝町へ移住。築100年の廃校を再生した「MORIUMIUS」を開設し、地域の自然や暮らしを生かした子どもの学びと、持続可能な地域・コミュニティづくりに取り組む。



室井 房治（むろい ふさじ）
(株)銚子山十 醬司（ひしおつかさ）
担当教科：食・郷土
銚子生まれ。東京理科大学卒業後、1974年に家業「銚子山十」を継承。江戸時代から続く発酵調味料「ひ志お」の伝統を守る「醬司」。地域防災にも長年携わり、千葉科学大学では「市民防災論」などの授業も担当。

12月5日



大久保 昇（おおくぼ のぼる）
株式会社内田洋行 代表取締役社長／熱中小学校東京分校 校長
担当教科：理科
株式会社内田洋行代表取締役社長。日本理科教育振興協会会長として理科教育の発展にも尽力。これまで世界20カ国以上の学校を視察し、教育の未来を見つめ続ける。小学生時代は科学部、熱中小学校では「理科」を担当。



神崎 亮平（かんざき りょうへい）
東京大学名誉教授／先端科学技術研究センターシニアリサーチフェロー
担当教科：理科
東京大学名誉教授。昆虫の優れた能力や「知能」を最先端技術で解き明かし、昆虫が操縦するロボットや「サイボーグ昆虫」などを研究。昆虫の知能を生かし、自然に優しい新たな科学技術の可能性を探究している。

1月9日



広谷 純弘（ひろたによしひろ）
建築家／アーキヴィジョン広谷スタジオ代表／わかやま熱中小学校 校長
担当教科：美術
建築家。アーキヴィジョン広谷スタジオ代表。「他とつながることで、建築はどうなるのか？」をテーマに、宮内庁三の丸尚蔵館などを手がける。公共建築賞国土交通大臣表彰、グッドデザイン賞など受賞多数。



浅井 祥仁（あさい しょうじ）
高エネルギー加速器研究機構 機構長
担当教科：理科
素粒子物理学者。世界最大級の加速器LHCを使った国際実験に参加し、ヒッグス粒子の発見に大きく貢献。現在は加速器や光を用いて、未知の素粒子や宇宙・物質の成り立ちを探究している。仁科記念賞など受賞。

2月6日



江原 崇光（えはら たかみつ）
東洋ライス株式会社 上席執行役員／コンソーシアム推進室長
担当教科：家庭科
世界初の無洗米を開発した東洋ライスで、「食食同源米」を軸に活動。毎日食べる「ご飯」から、健康寿命や医療費、食料自給率など日本が抱える社会課題を考え、医療・行政・企業をつなぐ取り組みを進めている。



花岡 和佳男（はなおか わかお）
株式会社シーフードレガシー 代表取締役
担当教科：共生
世界の海で環境保全に携わり、現在は企業・行政・NGOなどをつなぎながら、豊かな海と水産物を未来へつなぐ「サステナブル・シーフード」を推進。海の恵みを守りながら食べ続けるための仕組みづくりに取り組む。

3月6日



荻谷 夏子（かりやなつこ）
大村はま記念国語教育の会 事務局長
担当教科：国語
中学時代、国語教師・大村はまに学び、晩年にはその仕事を支える。現在は大村はま記念国語教育の会事務局長として、その教育思想を次代へ伝える。『評伝 大村はま』などを著すノンフィクション作家。



佐久間 雅也（さくま まさや）
ちようしのたからプロジェクト 代表／デクノボー農園 園主
担当教科：共生
1989年、醤油会社への就職を機に銚子へ。退職後に有機農業を学び、2021年「ちようしのたからプロジェクト」を設立。里山「兄弟谷津」で田んぼや自然環境を再生し、銚子の豊かな自然と暮らしを未来の子どもたちへつなぐ活動を続ける。